

祝辞

「第19回メートル・キュイジニエ・ド・フランス“ジャン・シリンジャー杯”」及び「第19回メートル・ド・セルヴィス杯」の開催に当たり、心よりお慶び申し上げますとともに、関係者の皆様のご努力に敬意を表します。

この二つのコンクールは1994年以来開催され、今回は特に、本年1月に一般社団法人となりました「フランスレストラン文化振興協会」(APGF)が、新たなスタート地点に立って主催する記念すべきコンクールであると同っております。APGF 及びご関係者の皆様が、今後とも、両コンクールの歴史を継承し、料理とサービスのプロフェッショナル人材の世代を超えた育成に取り組み、更なる発展を遂げられることを祈念申し上げます。

「食事」は、自然や文化等と並び、観光における主たる要素の一つであり、日本を訪れる旅行者にとって「食事」は大きな魅力です。和食はもちろんのこと、世界の料理を高いレベルで楽しむことが、その理由です。とりわけフランス料理については、両コンクール等の機会を通して、その技術が高められ、発展、進化を遂げて、我が国の魅力の一つとなっていると考えております。

コロナ禍において日本の観光・旅行業界は大きな影響を受け、レストランやホテルをはじめとする関係産業も、これまでになく深刻な状況に置かれています。観光の復活に向けてしっかり取り組んでまいりますとともに、コロナ禍が一日も早く収束し、レストランやホテルが再び活況を取り戻し、多大な研鑽を積み重ねてきた両コンクールの出場者の方々が活躍の場を得て、各地でその魅力を発信していただくことを切に願っております。

最後に、本日の両コンクールの御成功と、出場者の御健闘をお祈りいたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

和田 浩一

和田 浩一
観光庁長官
令和3年10月